

あかねの集い

第158号

平成27年9月18日

発行者

社会福祉法人あひるの会 あかね園

〒275-0024

千葉県習志野市茜浜3-4-5

TEL 047-452-2715

<http://www.akaneen.com/>

障害者就業・生活支援センターあかね園とは

～あかね園内の他事業との連携もしながら、地域センターとしての役割を果たす～

あかね園が行なう事業の一つに「障害者就業・生活支援センター」があります。簡単に紹介しますと、

- これは国の事業です。それを民間の社会福祉法人やNPO法人等が受託して展開しています。
- 全国各地に327センターあり（平成27年8月1日現在）、千葉県には16センター設置されています。
- 様々な障害を持った方の「働く、暮らす」ことの支援が目的で、関係機関と連携を図って支援に取り組むその調整役としての機能が求められています。
- 支援センターのサービスを受けるには登録が必要（無料）です。あかね園の利用者だけでなく近隣市町村にお住まいの方や学校からの就職者、他の福祉施設に通っている方も登録しています。（8月末現在496人）

支援センターの業務は多岐に渡りますが、あかね園の中では、下図のように位置づけられています。



- ①事業の取り組みに同席し、将来的な就職のイメージ作りを促します。
- ②作業現場や生活実習への参加を通して、働く上で必要なスキルをセンターの立場からも伝えていきます。
- ③実際の企業で働く経験を積むため、実習先の開拓や移行職員と一緒に企業訪問を行ないます。
- ④履歴書作成のサポート、面接練習、企業見学、採用面接への同行等を行ないます。
- ⑤企業訪問や電話相談により本人・企業の状況把握に努めます。生活面の出来事が就労に影響を及ぼす場合もあるので、家庭、病院、市役所等と連絡を取り合い、必要に応じてケース会議や家庭訪問を行ないます。
- ⑥本人または企業の事情により離転職を考える際、スムーズに次の職場に移る場合と、一旦あかね園に戻って就業面・生活面の立て直しをする場合があります。本人・家族のニーズを聞きながら相談を進めていきます。
- ⑦就業状況を各担当に伝え（あかね園として共有し）、センターだけでなく様々な職員が関わることを意識しています。これはホームや余暇に限らず、他事業の職員とも同様に情報共有をしています。

就職は通過点です。就労継続していく中で本人も家族も高齢化します。大事なことは“長く安心して働くこと”ですが、その中では生活面での相談が多く、また年金や後見人等についての相談も出てきます。一方、時間の経過に伴い企業の状況も変化します。法律や制度が変わり、障害があっても働くことに対してシビアな評価をする企業が増えてきました。場合によっては離職になることもあります。しかし、本人の働く意思がある限り、支援センターとの関わりは途切れません。転職支援や福祉サービスへの繋ぎ等を行なっています。

企業人として仕事の精度を高めることは勿論、良い生活習慣を持ち、自分のことは自分でする、趣味や余暇の幅を広げる、自宅と職場以外の居場所を持つ、といった生活の質を高めることが重要です。それが仕事の幅を広げることにも繋がりますし、柔軟な選択肢を持てる豊かな社会人なのだと思います。（担当：中）

園 行 事



一泊旅行

6月4日（木）～5日（金）、今年度の一泊旅行は静岡県の西伊豆・堂ヶ島に行ってきました。

利用者80名、職員30名の総勢110名、大型バス3台での移動となりました。前年度と同様、ホテルと帰りの海老名SAのみ全事業で集合し、その他の行程はそれぞれの事業で楽しみました。

ホテルの宴会では、豪華な食事に舌鼓を打ち、1日目の思い出話に花を咲かせている様子もありました。また、旅行の楽しみの一つでもある宴会のゲームでは、事業対抗の万歩計振りやクイズ等、会場が一体となり盛り上がりました。

梅雨の季節でしたが、幸い天候にも恵まれ、両日とも富士山を眺めることが出来、思い思いの旅行を楽しんでいただけたのではないかと思います。

（担当：佐藤）



納涼祭

8月8日（土）猛暑の中、幸いにも少しだけ気温が下がった夏の夕暮れに、今年度の納涼祭が開催されました。370名のお客様がお越し下さり、会場となったあかね園の園庭は大賑わいでした。今回は涼しさの提供と、あかね園のカッコよさを表現すべく、“クールあかね園”をコンセプトとしました。

祭りの中では、余暇サークルの太鼓メンバーによる太鼓演奏や、チーバくん、ナラシド♪、ふくっぴー等によるショーを行ないました。花柳流龍美会さんをお招きしての盆踊りでは、参加者が徐々に増え、踊りの輪がどんどん広がっていきました。

日々お世話になっている方々に、感謝の気持ちが少しでも伝わっていただければ幸いです。来年も、たくさんの方のご参加をお待ちしています。

（担当：吉原）



余暇担当より

6月7日(日)市原スポレクパークにて行なわれた、千葉県知的障害者スポーツ大会サッカー競技の部に「チームあかね」として出場しました。約半年ぶりの大会に緊張しながらの第一試合は1対4と悔しい結果でしたが、続く第二試合は6対4で久しぶりの勝利を飾ることができました。最終成績では参加ブロック3チーム中2位となり、参加者からは「次はもっと良い成績を残したい」との声が多く挙がっていました。今後も引き続き、練習の成果を発表する機会を用意していきたいと思えます。(担当：吉原)



保健担当より

6月24日(水)の午前、あかね園第二作業場を会場に健康診断を実施しました。職員を含む136名が受診し、その内所見のあった方が84名でした。「要精検」以上の方は、必ず病院を受診していただき、受診報告書の提出をお願いします。

また、7月は習志野市健康福祉センターの巡回指導があり、以下の2点について指摘を受けました。

①カルシウムの摂取量不足

カルシウムには歯や骨を強くする以外にも、高血圧や動脈硬化の予防、体の生理機能を調整し、心を安定させる働きがあります。ご自宅でも牛乳や小魚を含む食材を積極的に摂るよう心掛けてください。

②肥満と診断される方が多い点

肥満は、生活習慣病や突然死の原因となる睡眠時無呼吸症候群を招く恐れがあります。改善予防には適度な運動が不可欠ですが、継続班で取り組んでいる「踏み台昇降運動」がお勧めです。ご自宅でも気軽のできるので、毎日10分でも是非続けてみてください。

長く働くためにも健康な体でいることはとても大切です。バランスの取れた食生活や適度な運動を意識し、健康体の維持に努めましょう。(担当：本吉)

ふれあい会より

7月3日(金)京成津田沼駅近くのレストラン「マッセリア」において、夏の懇親会を行ないました。職員を含む86名が参加し、貸し切りの店内は満席状態、とても賑やかな会となりました。新しい顔ぶれとなった役員と新規入会者の挨拶があり、新会長による乾杯の後は、イタリアンビュッフェの美味しい料理を楽しみました。それぞれリフレッシュできる時間になったのではないかと思います。(担当：白井)



研修担当より

7月15日(水)の職員研修日は、事業別に外部見学を行ないました。各職員が新たに学び、良い刺激を受け、日々の支援を振り返る機会となりました。

①市川大野高等学園：移行・自立・継続事業

充実した設備が整っており、将来の就業定着に向け地域の企業と連携した実践的な取り組みが印象的でした。



②ハウス花見川：共同生活援助事業

NPO法人すばるのグループホームです。広々としており、入居者の方の生活の様子等についてお話を伺いました。



③就職するなら明朗塾：支援センター事業

あかね園と同じ支援センターと就労移行の現場を見学し、特色のある支援内容についてお話を伺いました。



(担当：渡辺)

保護者会 ～研修会を終えて～

7月3日（金）の保護者会研修は「成年後見人制度の現状についての学習会」を開催し、保護者32名の出席がありました。

あひるの会理事、社会福祉士の三橋俊一様、あひるの会評議員、習志野市手をつなぐ育成会理事長の神恵美子様から、それぞれ「成年後見制度の概要について」と「後見人制度利用者の具体的事例、PACガーディアンズについて」講演をしていただきました。その後の参加者による質疑応答では、具体的かつ活発な意見交換が行なわれ、本人のために何ができるのか、何が必要なのか改めて考えさせられました。親も勉強してやれることはしっかり努力したいと思いました。

終了後のアンケートでも、現状について理解でき、本人のための制度であること、今後もこのテーマで続けてほしい等の声がありました。関係者のご協力により大変有意義な研修会となりました。

（保護者会研修担当：坂本）



就労者親の会 ～6月の定例会のご報告～

就労者親の会第2回定例会を、6月26日（金）に参加者46名で行ないました。全員が約1分間のスピーチをし、就職後の子どもの様子や変化、日頃感じている思いなどを話しました。共感するお話も多々あり、頷いたり笑ったりしながら我が事のように聞き入りました。

根底にある共通の思いは、親も子もいつまでも元気で今の生活がずっと続くことです。でも現実には思い通りにはいかないかもしれません。今までの研修会での学習や、折に触れ園長先生がおっしゃる「その時になって慌てないよう、準備を怠らないことが大事」ということを改めて強く認識しました。出席いただいた先生方からも心に染みる率直な感想をお一人ずついただき、いつもとはひと味違う定例会になりました。

（就労者親の会：大肚）



友の会 ～研修会のご報告&コンサートのお知らせ～

6月18日（木）「光の村授産園」へ見学に行きました。友の会代表の国松さんをお迎え、参加者は保護者会17名、就労者親の会24名でした。

ここは生活する力を身に付けるための指導に重点を置いている施設です。一昨年の研修会では、あかね園に理事長の岡本先生をお迎えして講演会を行ないましたが、まずは実行すること、何度も何度も諦めずに繰り返すことというお話を聞き、今回実際に現場を見てその内容を再確認することができました。

見学後は木曽路幕張店へ移動し、美味しい昼食をいただきました。食後は互いに感想を述べ、「今日思ったことはすぐに実行する」という柴田園長の言葉で締めくくりとなりました。耳が痛くもあり、一歩を踏み出さなければと改めて背中を押された感ありの、充実した一日となりました。

（友の会担当：中内）



第26回 あひるの会「友の会」コンサート

津軽三味線と クラシックの調べ

2015年11月27日（金）

午後6:00開演（午後5:30開場）

於 船橋市民文化ホール

全席自由席 2,000円



チケットに関するお問い合わせ、お申し込みは

047-452-2715 まで

詳細はあかね園ホームページ www.akaneen.com
でもご確認いただけます。